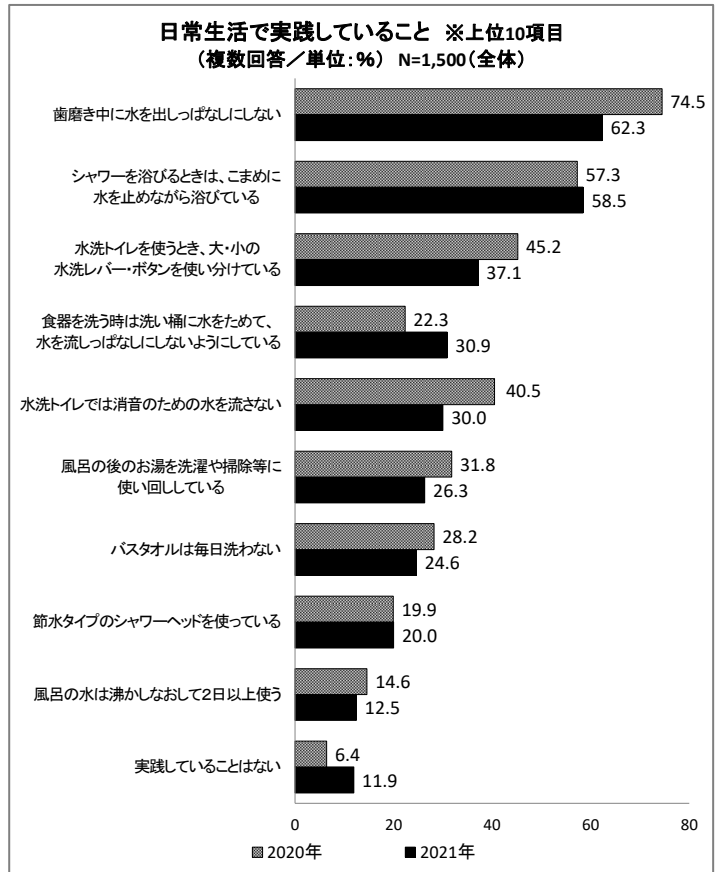


Q.日常生活で実践していることは？（14択+その他+実践していることはない）

◇項目ごとの取り組み率に変化あり。

節水や再利用の方法に関する項目を選択肢にあげ、日常生活で実践していることについて聞いたところ、1位「歯磨き中に水を出しっぱなしにしない」（62.3%）、2位「シャワーを浴びるときにこまめに水を止める」（58.5%）、3位「水洗トイレの大小レバー・ボタンを使い分ける」（37.1%）となり、トップ3は順位、項目ともに昨年と同様でした。しかし、それぞれの数値に目を向けると、「歯磨き中に水を出しっぱなしにしない」は昨年（74.5%）から12.2ポイント、「水洗トイレの大小レバー・ボタンを使い分ける」は8.1ポイント（昨年45.2%）と大きく減少しています。加えて、4位「食器を洗うときは水を流しっぱなしにしないようにしている」（30.9%）は昨年（22.3%）から8.6ポイント増加し、5位「水洗トイレでは消音の水を流さない」（30.0%）は10.5ポイント減少（昨年40.5%）するなど、項目ごとの取り組み率に変化が見られました。

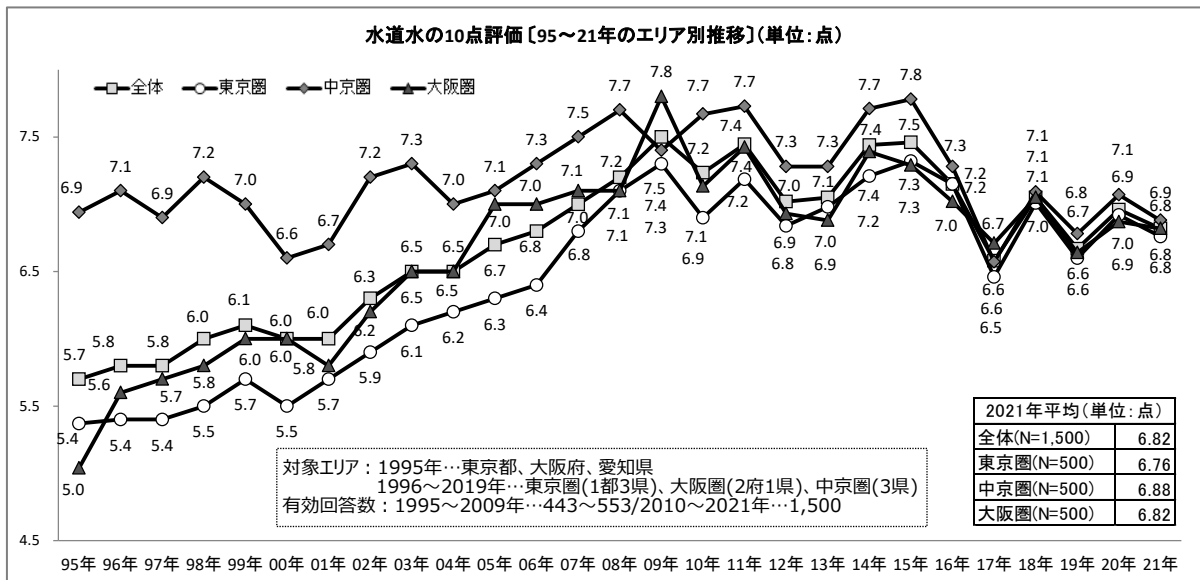


水道水に関する意識

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体、居住地別ともに昨年とほぼ変わらず。

水道水の10点満点評価は、全体の平均が昨年比0.14ポイント減の6.82点となり、居住地別でも東京圏が0.16ポイント減の6.76点、中京圏が0.19ポイント減の6.88点、大阪圏が0.05ポイント減の6.82点と、いずれも昨年をわずかに下回ってはいるものの、ほぼ変わらないという結果でした。昨年、唯一7点台に回復した中京圏は、再び6点台となりました。

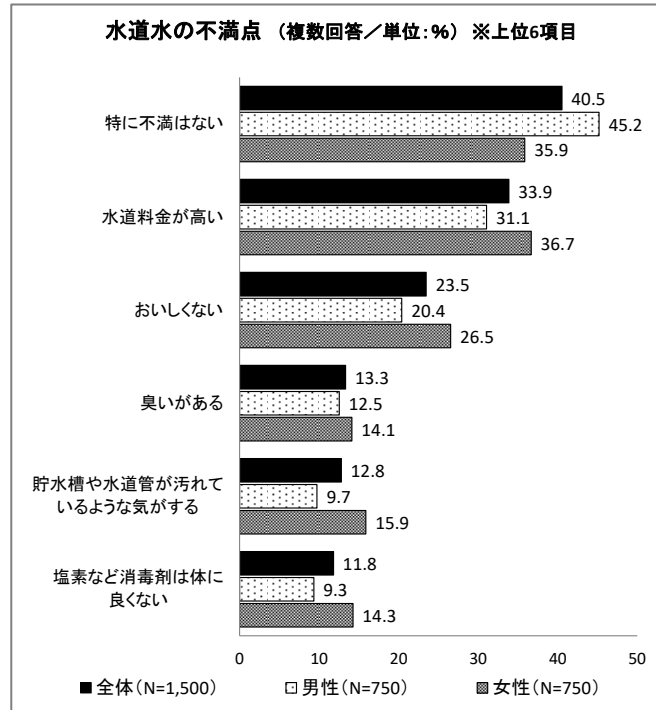


Q.水道水について不満を感じていることは？（8択＋その他＋特に不満はない）

◇全体の1位は「特に不満はない」。女性は「水道料金が高い」がトップ。

水道水への不満については、全体の4割超（40.5%）が「特に不満はない」と回答し、昨年に続き1位でした。2位（不満のトップ）は「水道料金が高い」（33.9%）で、以下、3位「おいしくない」（23.5%）、4位「臭いがある」（13.3%）となり、上位は昨年と変わりありませんでした。

男女別では、男性は「特に不満はない」（45.2%）、女性は「水道料金が高い」（36.7%）がそれぞれのトップとなり、昨年とは逆の結果になりました。



水と災害

Q.日頃不安や心配に感じていることは？（13択＋特に感じない）

◇各項目とも数値が減少し、4人に1人以上が「特に感じない」と回答。

日頃不安や心配に感じている事柄について聞いたところ、1位「給水制限や断水」（37.7%）、2位「飲料水や生活用水の悪化」（28.4%）、3位「特に感じない」（27.1%）、4位「水難被害」（24.1%）、5位「浸水被害」（23.3%）となりました。トップ5は、「特に感じない」（昨年7位）を除いてすべて昨年と同様でしたが、各項目とも昨年より数値が減少しており、「特に感じない」のみが5.4ポイント増で順位も上昇しました。なお、年代別でみると、20代は全年代で唯一、「特に感じない」（36.0%）が1位という結果でした。

